

頑張る村民、地域補助金はこう活かされた!

平成25年度「南阿蘇村頑張る地域支援補助金」事業紹介②

「ASO世界農業遺産マルシェ実行委員会」(鈴木高男代表、村補助49万5千円)は、9月29日(日)あそ望の郷で「世界農業遺産マルシェ」を開催。南阿蘇村に移り住んだ方々が中心となり、①世界農業遺産の価値を伝える、②生産者と消費者を結び、その交流を深める、③安心安全な南阿蘇の農作物や加工品の販売を目的に今年初めて実施された。



当日は、小野泰輔副知事のトークショーや有機野菜と阿蘇の地域性を活かした農産物加工品の販売、新米のふるまいなど盛り沢山の内容だった。一時は駐車場が満車になるほど、村内外から多くの方々を足運ばれた。好評につき平成26年度も開催が予定されている。

主催者に聞くと地元住民への周知不足などの反省点もあるようだが、更に充実した規模と内容で世界農業遺産の価値を発信する事業の開催が待たれる。

「南阿蘇村ハッピー大作戦」上野隆弘代表、村補助90万円

この団体は、東海大学の学生グループと黒川区民が中心となり組織。大学周辺に下宿する学生たちが日頃からお世話になっている黒川区を盛り上げたいと計画した。

昨年8月9日、廃校となった長陽西部小学校を舞台に夏祭りが開催された。学生たちと黒川区民が協力して15もの出店が並び、最後には花火も打ち上げられた。



合併後に下火になっていた盆踊り「長陽自慢」(南阿蘇村出身の岩代浩一先生が作曲)を復活させた。踊りの練習では地元婦人会から指導があり、祭り開催までの過程で、学生たちと黒川区民の絆も深まったようだ。一昨年7月の大水害から村内の祭り等の開催が見送られていた経緯もあり、近隣区民同士の再会の場にも役立った。

12月には、大学構内でクリスマス・イルミネーションも実施された。

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。

時の経つのは早いもので、議会議員になって1年が過ぎようとしております。議会や、各委員会など初めてのことがばかりで緊張しながらたくさんの経験をしました。今年、2年目です。昨年の経験をもとにさらに努力を積み重ねて村の発展のため頑張ろうと心新たにしたところです。

寒さもこれからが本番です。健康には、十分注意して今年1年乗り切っていこうと思っております。

広報委員会も昨年よりさらに充実した内容になるよう一層努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

議会広報特別委員会

委員 後藤 征昭

議会広報委員

委員長 脇坂 春喜
副委員長 桐原 純男
委員 市原 秀志

後藤 征昭
丸野健一郎
太田 吉浩